

## 長野県塩尻志学館高等学校 令和2年度第2回学校評議員連絡会 記録

日時 令和3年3月19日(金) 午後3時30分から午後4時30分

場所 塩尻志学館高等学校桔梗会館(同窓会館)

出席者 学校評議員 塩尻市産業振興事業部長・塩尻市教育委員・同窓会長・PTA副会長  
松本大学教職センター長

学校職員 校長・教頭・事務長・総合学科主任・教務主任・進路指導主事・生徒指導主事  
生徒会主任

- 1 開会
- 2 校長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 学校より説明
- 5 学校評議員からの質問・意見・要望等(●は回答)

(評議員)

- ・生徒指導関係でSSWとの連携について、具体的にどのような支援をいただいているのか。
- ・卒業時アンケートで19期生は入学時進路未定の生徒が例年より多かったが、卒業時には良好に決まっていると思う。理由は何か、感触などがあれば。
- スクールカウンセラーについては担任を通じて、連絡を取り、進めている。SSWとの連携は家庭内のことで悩みを持った生徒について各方面に連携をとってもらい、解決していただいた。
- 総合学科の特徴として、将来の目標を持っている生徒を育てるとともに、入学時にまだ将来の目標が定まっていない生徒にキャリア教育などいろいろな経験を通して将来の目標を決めていくこともある。その成果ではないかと考える。

(評議員)

- ・普通科にはない授業選択について、アンケートで満足度が高い。総合学科の良さだと思う。

(評議員)

- ・シオジリ学(信州学)がKININARUミッションになったが、その具体的な内容を知りたい。
- 今年度シオジリ学がコロナ禍の関係もあり、KININARUミッションとなった。例えば、「塩尻のここが子育てしやすい！ここを探せ」というミッションでは子育てのしやすさについて、「使いやすい公園が多い」、「えんぱーくの存在が大きい」というような意見があった。また、「塩尻には〇〇がなくて困る！〇〇を探せ」というミッションには逆に「特に足りないものはないのでは？」という意見が出た。生徒の発表も工夫された面白いものも多かった。

(評議員)

- ・学校評価について、今回評価をしたが、なかなかボリュームがあり、どんな活動をやったのか途中の報告がないと、どのような評価を求められているのかよくわからなかった。
- 今年度はコロナ禍のこともあり、評議員の方々に各行事にご参加いただくことができず、また、広報誌などの様々な情報が出せずに申し訳なかった。来年度はご参加いただけるような方向で考えていくとともに、情報も逐次発信していきたい。
- ・フランスワイン研修が中止になってしまい残念だった。また、その代替の北海道ワイン研修も中止になり残念だった。生徒にはいろいろな経験をしてもらいたい。
- 来年度も海外は無理と考え、夏季休業明けに北海道ワイン研修を計画している。

(評議員)

- ・生徒一人ひとりの進路を細かく支援していただいて感謝している。特に図書館を夜7時ころまで開けていただいて落ち着いて勉強できたのがありがたかった。

(評議員)

- ・コロナ禍でいろいろな行事が中止・縮小したのは、生徒はもちろんだが、我々としても生徒の活動を見られるのを楽しみにしていたので残念。来年度110周年となるが、現在の状況から記念式典などは行わず、学校の希望するものを記念品として送ることになった。来年度進めていきたい。

(評議員)

- ・キャリア教育での探求型の学習は、大学に進学してからも非常に役立つ力になる。生徒の感想でも「自主性が身についた」とあるが、総合学科の成果だと思う。
- ・新聞記事で、20代の若い卒業生の活躍が取り上げられることは、在校生の希望にもなると思う。また、若い卒業生がこれだけ活躍しているのも総合学科の探求型学習の成果であると思う。

## 6 校長挨拶 (まとめ)

## 7 閉会